

令和2年4月7日

【連絡】

一日の生活リズムを作りましょう。

- ・7時前後には、起床しましょう。
- ・まずは健康観察、検温をしましょう。
- ・8時25分からの学校の始業のリズムに合わせて生活しましょう。
- ・日課表、時間割を週単位で作リ、計画的に過ごしましょう。
- ・家の手伝いをしましょう。(食器洗い、洗濯、掃除など)
- ・室内外での適度な運動をしましょう。(人が集まらない方法で)

※休校中、お子様が規則正しい生活をおくることができるよう配信しております。是非お子様にお伝えください。

令和2年4月13日

【連絡】

健康維持のための連絡

教科名 保健面 対象学年 全学年 教師名 須浦 麻由

○生徒に皆さんへのメッセージ

- ・新型コロナウイルス感染防止のために(4月10日・北九州市 市長メッセージより)

「不要不急の外出をしないこと」が大切です。

でも、どうしても外に出ないといけないこともあると思います。その時に大切なことは、人との適切な距離をとること。いわゆる「ソーシャルディスタンス」(社会的距離)を確保することです。1メートル、できれば2メートルの距離をとってください。感染症の拡大を防ぐために、人混みを避けたり自宅にとどまったりして、人との距離を十分にとってください。

- ・日常生活で気を付けること(4月10日・北九州市ホームページより)

「手洗い」 外出先からの帰宅時や調理の前後、食事前などに、こまめに石けんで手を洗いましょう。石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよくふき取って乾かしましょう。*手洗いの前には爪を短く切っておきましょう。

・「咳エチケット」 咳やくしゃみを手で押さえると、その手で触ったものにウイルスが付着しドアノブなどを介して他の方に病気をうつす可能性がありますので(マスクを着用する・マスクがない時⇒ティッシュ、ハンカチで口・鼻を覆う・とっさの時⇒袖で口・鼻を覆う)など咳エチケットを行いましょう。

- ・「3つの密を避ける」 ①換気の悪い密閉空間 ②多数が集まる密集場所 ③間近で会話や発声をする密接場面の「3つの密」を避けるため不要不急の外出を控えましょう。

*人混みを避けて近所を散歩したり、公園などで体操をすることは問題ありません。適度な運動は健康の維持や免疫力を高めることにつながります。家から「一步も外に出ないで」ということではありません。

令和2年4月14日

【連絡】

家庭学習の進め方（保健体育科編）

教科名 保健体育 対象学年 全学年 教師名 井上、岩波、鈴木 他 保健体育科

○教科書を使った学習の進め方、

- ・中学校保健体育「4 健康な生活と病気の予防」「感染症の予防」をよく読み、自身で出来る限りの予防策に取り組む。

○教科がわかる、楽しくなるポイント

- ・毎日のニュースや新聞の記事も一緒にチェックしてみる。

○教科の学び方のポイント

- ・食事、睡眠・休養、運動は「健康」と密接に繋がっていることをおさえておきましょう。

○生徒に皆さんへのメッセージ

- ・室内ででき適度な運動を行い、健康の保持増進に努めておきましょう。

(例)腕立て伏せ、腹筋、スクワット、バーピージャンプ運動 等

令和2年4月16日

【連絡】

家庭学習の進め方（英語科編1年）

教科名 英語 対象学年 1 年生 教師名 愛甲 志保

○新一年生の皆さんへ

初めまして。英語科の愛甲です。今日は休校中の英語学習のポイントをお知らせしたいと思います。

1. 声に出しながら書く練習をする。
2. 単語を書けるようになったかどうか、必ず自分でテストを試みる。
3. 毎日、覚えた単語を確認する。

(1日目 5語 ⇒ 2日目 新しい5語+昨日覚えた5語=10語 ⇒ 3日目 新しい5語+昨日までの10語・・・というようにしていきます。日にちを重ねて、何度やっても間違えずに書けるようになった単語は外していったかまいません。)

4. 課題の単語が一通り終わったら、教科書の単語を覚えていきましょう。単語の読み方が分からない時はインターネットで検索すると音声を聞くことができます。ぜひ活用してみてください

家庭学習の進め方（英語科編2年）

教科名 英語 対象学年 2 年生 教師名 仲野 浩二

○教科書を使った学習の進め方、

- ・「ノート作り」を積極的に行う。(もちろん2年の教科書を使います)

本文を写す→語句を写して、日本語を調べる(何回も練習する)→基本文と日本語(とても重要です)を写す。

- ・教科がわかる、楽しくなるポイント

- ・英語に関するクイズに挑戦しよう!では問題です。アルファベットは全部で26個ありますが、

「ある法則」を発見すれば、7つのグループにすることができます。答えがわかった人は、登校ができるようになったときに先生のところにきてくださいね。

○教科の学び方のポイント

- ・「聞くこと」、「話すこと」をレベルアップするために、「洋楽」を聞くことをお勧めします。(インターネット等を活用する)積極的に聞こうとするのではなく、BGM的に聞くこと(何かをしながら聞くこと)だけでもいいです。

○生徒に皆さんへのメッセージ

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止に細心の注意を払い、「時間を上手に使う」ことにチャレンジしてください。

家庭学習の進め方(英語科編3年)

教科名 英語 対象学年 3 年生 教師名 川島 健宏

○教科書を使った学習の進め方、

- ・「イチゴ読み」をお勧めします。簡単に説明すると、音読するときに「単語→チャンツ→文」という風に、単語から文へと少しずつ長くしていきながら、音読する方法です。「チャンツ」とは一定のリズムに乗せて、リズムカルに繰り返し口ずさむ音読方法です。読めるようになったら、リズムをアップして頑張ってみよう。

○教科がわかる、楽しくなるポイント

授業で習った文法事項や身に付けてきた思考力をより向上させるために、英語の歌を聴いたり、映画を観たり

(音声は英語、字幕は日本語)することが効果的です。全てを理解することは難しいかもしれませんが、リスニングの練習になると思います。挑戦してみてください。

○教科の学び方のポイント

まずは1・2年生の定期考査、課題テスト、総仕上げ問題をもう一度復習しましょう。そして、「be 動詞」「一般動詞(現在)」「一般動詞(過去)」「進行形」「助動詞」などといった文法ごとに復習することがとても効果的です。3年生は「受け身」から始めます。この期間を利用して1年生の「be 動詞」から2年生の「比較」までをしっかりとマスターしておきましょう。

令和2年4月17日

【連絡】

学習の進め方(社会科編1年生)

教科名 社会 対象学年 1年生 教師名 織田 遼平

○教科書を使った学習の進め方、

- ・まずは教科書本文の太字になっている言葉(キーワード)や地図の国名や都道府県名を覚えましょう。また、社会科では覚えた事柄について理由を考えることが大切です。(なぜ熱帯の暑い国の伝統的な住居は高床になっているのか、なぜ聖徳太子は冠位十二階の制度を定めたのか、等)
- ・教科書や地図帳にのっているグラフや図などの資料を読み取ったり、それらを使って調べ学習をしたりしてみましょう。(教科書の資料から縄文時代の人々がどのような生活をしていたか読み

取る、地図帳を使って世界で人口が多い国ベスト3を調べる、等)

○教科がわかる、楽しくなるポイント

・社会科では、ある程度の知識は覚える必要がありますが、単純に暗記するのではなく、理由と一緒に考えたり、関連することを考えてみたりすることで学習がしやすくなります。例えば、福岡県というキーワードについて、地図上での位置、観光名所、特産物、歴史的にどのようなことが起こったか、福岡県出身の有名人、等を関連させてみると学習が楽しくなります。「気になったことはとにかく調べてみる」ということをやってみてください。

○教科の学び方のポイント

・大切なのは「なぜ」を考えること、調べることです。皆さんの身の回りには調べるための道具（教科書・地図帳・インターネット・本・家族に聞く等）がたくさんあります。ぜひ活用してみてください。

・社会科が苦手な人は、教科書や地図帳をなんとなく眺めてみるだけでも良いです。そうすると新しい発見や疑問が生まれて、苦手克服の第一歩になるかもしれません。ぜひ、今から教科書を開いてみてください。

○生徒に皆さんへのメッセージ

・これだけ自分に時間を使えることは中々ありません。休校を前向きにとらえ、時間を有効に使って、学習に励んでみてください。皆さんと一緒に学習できることを楽しみにしています。

学習の進め方（社会科編2年生）

教科名 社会 対象学年 2 年生 教師名 有吉 洋孝

○教科書を使った学習の進め方

(1) 基礎基本を確認する ～苗木から木を育てる～

まず教科書の本文を何度も読んで扱われている事から（社会的事象）の意味をとらえ、ノートなどにそれぞれの事からの内容を説明する文を書きます。もし上手に言葉で表現できないなら、それは理解不足の証拠です。何度も教科書に返って考え、すべての事からの意味を把握することが大切です。他の事からの語句をできるだけ使って説明文を書けば、お互いの関係性が見えやすくなるでしょう。この作業を通して、自分なりの社会科辞典をつくってみましょう。

(2) 事からどうしの関係を確認する ～木を植えて森をつくる～

次は、確認した様々な事から間の関係を図や表で示します。関係には、変化の前と後、現象と背景、原因と結果、全体と部分、類似や関連、対立や矛盾、発展や統合など、さまざまな種類があります。それらを線や矢印を使い、できるだけわかりやすく表してみましょう。わからなかったら再度、原点である教科書にもどって確かめます。参考例として、地理的分野の教科書の「説明しよう」のコーナー（181・195・209・223・239・253・264 ページ）を見てください。できあがったら、関係を裏付ける資料や統計・グラフを教科書から探し出し一緒にのせると説得力が増します。

(3) 全体のようにすを確認する ～中や外から森を観察する～

最後は、完成した図や表を自分の言葉で説明します。100字から200字程度で図や表の解説文を書いてみましょう。事から全部をもちこむことではなく、柱になる部分を選択する作業

が大事です。地理的分野ならその地方の、歴史的分野ならその時代の特徴が、くっきりと浮かび上がる簡潔な文を目指してみましよう。以上3つのステップを何度も経験することで、近年増えている自分で思考・判断した結果を表現する力を試す設問にも対応できる力を伸ばすことができるはず。ぜひ、挑戦してみてください。

○教科がわかる、楽しくなるポイント

1年の授業開きでも紹介したように、社会とは「集団生活を送るためにつくられる人の集団」のことです。地理的に考えると、家族から始まり、保育所や幼稚園、小学校やクラブ活動、中学校や学年・学級、生徒会、部活動や学校外のクラブ、町内や校区など地域、北九州市や福岡県、九州や西日本、日本そして東アジア、アジア州さらに世界、これらすべてが“社会”です。また、700万年前に誕生した最初の人類である猿人のDNAを私たち間違いなく引き継いでおり、歴史的に見ても“社会”はつながってできています。そう考えると“社会”とは、とらえどころのないものなどでは決してなく、今生きているこの場所、そして私たち自身のことなのです。こんな感じで、常に自分自身とのつながりを意識して学んでいくと、心のハードルもぐっと下がることでしょう。

○教科の学び方のポイント

『不易流行』とは松尾芭蕉が説いた言葉で、「物事には、時代を越えて変わらない部分と時の流れに対応して変わる部分のバランスが大切」という意味です。社会科の学習も同じです。“不易”にあたるのが基礎基本の定着、すなわち社会を形づくっている1つ1つの事から（社会的事象）の意味を確実に理解し覚えることです。この段階の方法は、くり返しのみです。何度も何度も手で書き、目で見、口で言い、耳で聴く。この作業を積み重ねるのです。よく「どうやったら覚えられますか？」という質問をされますが、まさにこれこそがその答えです。根気強く取り組みましょう。次に“流行”の部分が、社会の構造や変化のようす・事からどうしの関係などを見取って、それを自分なりの言葉や文章で表現することです。必要な武器は頭です。普段の生活の中で、常に「どうなっているんだろう？」とか「なぜなんだろう？」という意識をもって自分の身の回りをながめてみてください。最初はとまどっても、その内、きっと物ごとのしくみが見えてくるようになるはず。ぜひ。

○生徒に皆さんへのメッセージ

予想もしなかった2か月以上の臨時休校など、「国難」ともよばれるコロナウイルスとの戦いが続いています。しかし、中国の春秋・戦国の混乱から儒教が、日本の戦国時代から250年にも及ぶ太平の世が、さらに先の大戦によって現在の平和で民主的な世の中が生まれ出されたように、困難な状況が新しい時代を切り開くきっかけとなった例は歴史のたくさん見られます。その理由は、難局に臨んだ先人たちが、自らの頭をフルに使って考えを巡らせたからでしょう。私たちも今、その立場にあります。当たり前の日々のありがたさ、今回のできごとで見てきた世界や日本の良い点や課題、解決に向けた方途、そして自分自身に何ができるのか等々、さまざまな報道を参考にして家でじっくり考えてみてください。“社会”を観察し分析する力が、きっと成長するはず。さみしかったりイライラしたりすることも多いと思いますが、「ピンチをチャンスに！」の気持ちで、心を一つにしてともに頑張っていきましょう。

学習の進め方（社会科編3年生）

教科名 社会科 対象学年 3年生 教師名 吉本 忠永

○教科書を使った学習の進め方、

- ①本文の音読…声を出して読んでみよう（意外とすらすら読めないもの）。
- ②本文を2行あけながら丸写しをする。写した本文のわからない言葉や音読で読めなかった語句の下に意味を調べて書く。※英語の文章に意味を書くように。

○教科がわかる、楽しくなるポイント

*教科書に出てくる語句が、生活の中のどこで使われているか、専用のノートにメモしてみよう。

例：①新聞・テレビニュース・雑誌・ネットニュースなどを見る。

- ②「あっ、この人物は歴史の教科書にのってた…」 「この国は地理の教科書に…」 など気がついた語句をメモし、説明文を考える。

- ③地理・歴史（3年生で授業する単元は予習として）・公民（予習として）に分けて語句を集めると自分専用の『社会科事典』ができる。

○教科の学び方のポイント

*社会科は一般教養的な内容が多いので、社会に出たときに役立つことが多い。今はまだ興味はないかもしれないが、「やっておけばよかった」より「やっておいてよかった」と思えるように勉強しよう。

○生徒に皆さんへのメッセージ

3年生に所属することになった吉本です。授業ができなくて残念ですが、皆さんも今は我慢の時です。さすがに休みが長引くと不安もあるでしょうが、受験の準備のつもりで今までの復習をしっかり行いましょう。もう一度言います。「やっておけばよかった」より「やっておいてよかった」。「15の春を笑顔」で！

令和2年4月17日

【連絡】

学習の進め方（数学科編全学年）

教科名 数学 対象学年 全 教師名 中園 貞裕 宗像 佑典 永田 嘉弘

○教科書を使った学習の進め方、

- ①「ひろげよう」…教科書を読んで解答を考えましょう。次の「例」に繋がる問題です。解答は「ひろげよう」の問題文の下の文章中にあることが多いですが、ないこともあります。
- ②「例」…教科書を参考にノートに問題を写して解いてみましょう。実際に解き方を学ぶ問題です。解答は「例」の中にあります。
- ③「問」…「例」の解き方を参考に練習する問題です。問題をノートに写して解きましょう。教科書に解答はありません。授業の予習と思ってノート作りをしてみてください。
- ④「力をつけよう」…【3年p207～、2年p167～、1年p223～】こちらは教科書の最後に挟まっている小冊子の【3年p53～、2年p41～、1年p49～】に解答があります。「問」のあとにこちらに取り組んで正しく解き方をマスターできているか確認してみましょう。

○教科がわかる、楽しくなるポイント

数学が楽しいと感じる一番のポイントは、問題を解いたときに正解にたどり着いたという達成感だと思います。ぜひ達成感を得るために粘り強く問題に取り組みましょう。

○教科の学び方のポイント

問題の解き方がわからないことには進め方のわからないゲームと同じです。全く面白くありません。

「例」を参考に解き方のルールを学習しましょう。

○生徒の皆さんへのメッセージ

<三年生へ>

まず、一年生・二年生の定期考査の問題をもう一度復習しましょう。「式の計算」「方程式」「関数」「図形」といった領域ごとの復習がとても効果的です。特に、計算問題は三年生でもよく使うので、計算のやり方をしっかりマスターしておきましょう。三年生では、二年生最後の単元の「確率」から始めます。教科書・ワークなどを活用して、少し予習しておきましょう。

<二年生へ>

まだ少し先の話ですが、三年生になれば進路を切り拓くためにほとんどの人が受験生になります。受験勉強をしなければなりません。その際いつも先生や周囲の人が教えてくれるわけではありません。他の人に聞くことも大切ですが、自分で考えて学習することも身に付けなくてはなりません。その練習と思って自主学習に取り組んでみましょう。また皆さんと学校生活を送る日々を楽しみにしています。その時まで頑張りましょう。

<一年生へ>

算数から数学に教科の名前が変わり、今までにない考え方を使って問題を解決する必要性が出てきます。それに向けて次のようにして力をつけましょう。

①とにかく計算練習

計算力は全ての土台です。特に小数分数の計算や速さ割合にかんするところは今のうちに徹底しておきましょう。

②文章を読み慣れる

「え？それ国語では？」と思う人もいるかもしれませんが、数学も式という言葉を通して様々な関係を表現していきます。なんでもいいですが、新聞でも本でも読んだ後に結局どのようなことを言いたいのか」まとめてみましょう。数学と国語は実は密接に結びついています。がんばりましょう。

令和2年4月17日

【連絡】

学習課題のお知らせ

教育委員会からの学習課題の提示がありました。

教育委員会より、休校中の家庭学習課題として、4月20日（月）～5月1日（金）行う家庭学習課題例を用意したと連絡がありました。全10回で、学年毎に、回数（日付順に）で、提示しますので、家庭学習の参考として取り組んでもらいたいと思います。

[URL] <http://www.kita9.ed.jp/eductr/sub/contact3.html>

*家庭学習補助動画もあわせてごらんになっていただきたいと思います。

[URL] <https://www.youtube.com/channel/UCfZve5G3JE07nLH3yB9I2wg>

なお、本課題例は、北九州市立教育センター「新型コロナウイルス対策特設サイト」にも掲載しています。そこから入ることも可能です。

家庭学習課題は教科書を使った参考例なので、プリントアウトができなくても、画面をメモして学習を進めましょう。「篠崎中学校の先生方からの学び方や励ましを参考に、頑張りましょう。」と子どもたちを励ましていただくと幸いです。お困りの場合は、週明けにご相談ください。その他の技術的な不具合が生じた場合は、「教育委員会指導第一課 582-2368」までご相談ください。

令和2年4月20日

【連絡】

学習の進め方（家庭科編全学年）

教科名 家庭 対象学年 1～3年生 教師名 岡野 良子

○教科書を使った学習の進め方、

・家庭科は、1冊の教科書に、衣生活・食生活・住生活・成長と家族・地域との関わりや消費生活について役立つ知識や技能（実践の事例）が領域ごとに書かれています。まだ、習っていない内容でも、私たちが生活するうえで誰しも日々、行っている事柄ばかりなので、教科書に目を通すだけでも「なるほど!」「ちょっとやってみようかな!」と思うかもしれません。また、家庭生活において家事をする際に教科書を活用し、参考にすると、家庭科の学習内容がより身近なものになると思います。

○教科がわかる、楽しくなるポイント

・着ている衣服が汚れた場合、皆さんは洗濯をしますが、脱いだ服を洗濯機にポンと放り込んで洗剤を入れ、スイッチ ON ではなく、洗う前に衣服についての表示を見ましょう。手入れの情報が表示に書かれています。これを読み取るには、衣生活の学習内容の P116「既製服の表示」や P119「繊維の性質に応じた手入れ」に、水洗いの可否や洗剤の液性など衣服に応じた取り扱い方や手入れの方法が書かれています。また、P120 からは、「基礎技能」に衣生活で役立つ実践の方法が書かれていますので、これらを確認しながら実践すると失敗なく作業ができます。このように食生活や住生活などにおいても、それぞれの領域の該当する内容を見て実践すると、今までとは違う楽しい取り組みになると思います。

○教科の学び方のポイント

・知識や技能は、繰り返し生活の中で実践することで定着していきます。家庭科の内容は、私たちが健康で幸せに生きていくために日々、生活の中で行っている事柄ばかりなので、率先して家のお手伝いをしましょう。家事をすることは、家族を助けるだけでなく、自立の力が身につきます。沢山お手伝いした人は、経験した分、授業が行われるようになった時、学習内容がより理解

しやすいと思います。

・生徒に皆さんへのメッセージ

バランスのとれた食事や睡眠に気をつけるとともに、毎日することを決めて、メリハリのある生活をしましょう。一日も早くコロナが終息し、皆さんに会えることを楽しみにしています。

令和2年4月20日

【連絡】

学習の進め方（技術科編全学年）

教科名 技術 対象学年 1～3年生 教師名 村尾 一樹

○教科書を使った学習の進め方、

・技術という教科は「ものづくり」という印象が強いかと思いますが、情報なども技術の領域となっています。現在、「情報」は人間の生活にとって欠かせない存在であり、コロナ等のニュースもあらゆる「情報」手段によってみんなに知れ渡っています。情報社会が浸透している現在、情報技術を使用する上で何に気をつけるべきなのか、どういう仕組みで情報伝達されているのかを考え、知ってほしいと思っています。教科書には簡単にそのようなことが記載されているので、ぜひ確認して参考にしてほしいです。

○教科がわかる、楽しくなるポイント

・身の回りには様々な技術がありふれています。例えば、上を見上げればついている電球。今とっては欠かせない電球ですが、どのような仕組みで光を発しているだろうか。また、蛍光灯やLEDとの違いは何だろうかと疑問に思いませんか？そのような原理・仕組みを考えたり、調べたりすることでより技術という教科が楽しくなっていくと思います。ぜひ、身の回りにある技術を探し、その原理・仕組みを考え、調べてみてはどうでしょうか。

○教科の学び方のポイント

・先程も述べましたが、身の回りのあらゆる現象や技術の疑問を見つけ、自ら調べ、新たな発見や学びを体験してください。技術というのは、理科や数学の応用だと思っています。先述した電球や蛍光灯、LEDの仕組みなども理科の原理・現象を応用して創ったものです。現在、5Gが導入されようとしています。そこで、そもそも5Gとは何なのか、4Gと何が変わるのかなど調べてみると面白いかもしれません。

○生徒に皆さんへのメッセージ

・新型コロナウイルスによる影響により、思っていたような生活を送ることができず不満がたまったりと辛く感じている人もいます。でも、この休校中は家の手伝いと学習習慣を身に付け、学校生活を送れる準備を怠らないように過ごしてほしいと思います。そして一番重要なことは、みんなが新型コロナウイルスに感染しないことです。そのために一人一人が意識した考えと行動をとってほしいと思います。休校期間が終わり、みんなに会える日を楽しみにしています。

令和2年4月21日

【連絡】

○子ども読書の日について

・4月23日（世界本の日・子ども読書の日）は、子ども読書の日です。

4月23日から5月12日にかけての期間が、「こどもの読書週間」と言われています。

今年、令和2年度（2020）の標語は、「出会えたね。とびっきりの1冊に。」だそうです。

コロナウイルス拡大防止のための休校が始まって、自宅学習を余儀なくされている皆さんですが、これまでの間にどれだけの本を読みましたか。忙しい現代社会は、なかなか、一冊の本を読み切ることができない人が増えています。経済協力機構（OECD）が行った学習到達度調査によると、「趣味としての読書をしない」と答えた生徒は、OECD 平均では 31.7%ですが、日本では 55%、「どうしても読まなければならないときしか、本は読まない」と答えた生徒は、OECD 平均では 12.6%でしたが、日本は 22%と、日本の子供たちの読書離れが課題となっています。この時間の生まれた休校の機会に、是非、読書に取り組んでください。好きなジャンルやそれ以外でも、しっかりと文字を読み、ストーリーや内容を読みこなすことは、楽しさだけでなく、学びへの重要な入口になります。これからでも構いません。休校中の期間に、3～5冊の本に、チャレンジしてください。次に登校した際には、皆さんにどのような本を読んだかたずねてみたいと考えています。

令和2年4月21日

【連絡】

学習の進め方（国語科編全学年）

教科名 国語 対象学年 1・2・3年生 教師名 久野 阿部 宮本

○教科書を使った学習の進め方

・新学年の教科書には、物語や小説・随筆などの散文、詩・短歌・俳句など様々な文学的な文章があります。

目次を見て、興味のある単元から読み進めていくだけでも予習になります。

○教科がわかる、楽しくなるポイント

・教科書を読み進めていくと、不明な言葉や漢字がたくさん出てくると思います。そのとき、1年生は国語辞典を引く習慣をつけておきましょう。2・3年生は、授業中の「ワークの意味調べ」と同じ要領で積極的に辞書を活用しましょう。本文中の言葉が分かると、学習がさらに楽しくなります。

○教科の学び方のポイント

・教科書の各単元の終わりのページには必ず「学習目標」が書いてあります。教科書を読むとき、その単元を「なぜ学習するのか」という学習目標を読んでから読み進めていくと、その後、ワークやあかねこ漢字スキルに取り組むときの学習効果がアップします。また、教科書の最後のページにある「説明的文章を読むために」「文学的な文章を読むために」も参考にしましょう。

○生徒に皆さんへのメッセージ

・本年度は学校で取り組む四月の読書週間がありませんが、この期間にぜひたくさん読書をしてほしいと思います。また、作文が苦手な人は、毎日のニュースの内容や日々の出来事を指定時数以内にまとめる学習をしていくことをおすすめします。また、1年生は小学校で学習した漢字についても復習をおきましょう。

令和2年4月22日

【連絡】

学習の進め方（理科編1年生）

教科名 理科 対象学年 1年生 教師名 山本 華子

新一年生の皆さんへ

初めまして。理科の山本華子です。今日は、休校中の学習の進め方を載せます。少しでも皆さんの勉強の助けになればと思います。

○教科書を使った学習の進め方

中学校の理科は、生物・化学・物理・地学と大きく4分野に分かれています。

教科書をみると、つめかけが4色に分かれているのがわかると思います。学習を進める上で参考にしてください。

★教科書を読む。

①図や表をセットで見る。

理科は、図や表を一緒におぼえると、スムーズに理解できます！

②太枠の文字を覚える。

漢字から用語の意味を考えると覚えやすいです。③実験や観察の注意点を考える。

教科書を参考にして、さらに気をつける点を考えてみてください。

○教科がわかる、楽しくなるポイント

理科では実験したことや、五感を使って、感じたことから現象について考えることが大切であり、学習を楽しく進めることができます。休校中は、実験等はできませんが、教科書を使って科学者になった気分を考えを深めてみてください。

○教科の学び方のポイント

身の回りの自然現象などについて、疑問を持ち、なぜその事象が起こったのか考えてみましょう。その後、インターネットや本等を使い調べ、自分の考えと比較してみてください。

○生徒に皆さんへのメッセージ

1日に30分でも構いません。続けて勉強することが大切です。効率よく学習できる方法だと思います。学校が始まった時、いいスタートが切れるように一緒に頑張りましょう。

学習の進め方（理科編2年生）

教科名 理科 対象学年 2年生 教師名 浅井 信行

○教科書を使った学習の進め方

教科書の本文を読む、何度も読み込んで覚えるくらいになりましょう。特に太字はたいせつな語句なのでしっかり覚え、漢字で書けるように練習しましょう。

○教科がわかる、楽しくなるポイント

テレビなどで理科に関係ある番組を見てみましょう。身の周りの事などが理科に関係していることが分かります。また家にあるもので簡単な実験ができるかもしれません。ネットなどがあるので探してみましょう。

○教科の学び方のポイント

周りを見回して不思議だなと思うことはありませんか？例えば夕焼け空はなぜ赤いんだろうとか。理科はその疑問が出発点です。いろんなことに興味をもって見てみましょう。

○生徒の皆さんへのメッセージ

早く皆さんの元気な顔が見たいですが、今は我慢の時です。一人一人が責任を持って乗り越えていきましょう。こんなときこそ団結・思いやりです。

学習の進め方（理科編3年生）

教科名 理科 対象学年 3年生 教師名 松本 真宇

○教科書を使った学習の進め方、

学校等で。理科は暗記科目とよく耳にしますが、教科の本質を正しく捉えた言葉とは言えません。知識を身につけ、その知識を利用した思考力を身に付けることが大切だと考えます。教科書の中にある“トピック”や“暮らしの中の理科”等に目を通して、授業で学んだ知識がどのように生活の中にかかされているのかを確認し、参考にしてほしいと思います。

○教科がわかる、楽しくなるポイント

授業で習った知識や身に付けてきた思考力をより向上させるために、“YOU TUBE”等の動画配信サイトで中学校の理科実験や自然現象に関わる内容（植物の受粉のしくみや生物の進化の歴史等）のものを検索し視聴することが効果的です。実験動画については、実験の操作上の注意点や留意点も詳しく解説してくれるものもあるのでお勧めです。

○教科の学び方のポイント

学校等で配布されたプリントや問題集の復習に取り組んでほしいと思います。恐らく全ての問題をもう一度全て解ける生徒はいないと思います。一度やったことがある問題だからこそ、反復して何度も解いてほしいと思います。答えが分かってもかまいません。何度も解いてほしいと思います。表現や数字が変わっても、試験や入試で問われている問題の本質は変わらないと考えるからです。

○生徒に皆さんへのメッセージ

新型コロナウイルスによる影響により、思っていたような生活を送ることができず不満がたまったりと辛く感じている人もいます。でも、この休校中は家の手伝いと学習習慣を身に付け、学校生活を送れる準備を怠らないように過ごしてほしいと思います。そして一番重要なことは、みんなが新型コロナウイルスに感染しないことです。そのために一人一人が意識した考えと行動をとってほしいと思います。休校期間が終わり、みんなに会える日を楽しみにしています。

令和2年4月24日

【連絡】

学習の進め方（美術科編全学年）

教科名 美術 対象学年 1～3年生 教師名 森川 健一

篠崎中学校の皆さん、はじめまして。

美術科を担当させていただきます、森川と申します。

よろしくお願いします。

○美術科の授業・学び方についてお伝えします。

1年生は、図画工作から美術と教科の名前が変わります。

まず、最初に色彩について学習します。

教科書 P. 55～57 を一度、見て新しく出てきた専門用語を知っておいてください。

2年生は、奥行きのある表現方法ならびに平面構成を学習します。

教科書 P. 12～17 を参考に一点透視図や二点透視図など奥行きの表現方法を知ってもらえているだけで、授業のスタートがスムーズになると思います。

3年生は、篆刻（てんこく）制作を予定しています。

自分の名前を篆書体（てんしょたい）という書式を使ってデザインしていき、石を彫ってオリジナルの印鑑を作っていきます。

インターネットでも篆書体を検索できます。ネット環境があるならば、一度検索してもらえるとありがたいです。

美術は何かを見て、感じたり考えたりすることで学ぶことができます。

NHK の「デザイン あ」や「びじゅチューン!」、少し詳しくなりますが「日曜美術館」などを観てみるだけでも何か感じることもあるかもしれません。

令和2年4月24日

【連絡】

北九州市教育委員会の「家庭学習支援サイト」の更新について

北九州市教育委員会の学習支援データが更新されました。北九州市立教育センターHPに「家庭学習サイト」として更新されています。ご活用ください。

○20回分の家庭学習の課題に更新され、掲載されています。

各家庭でご活用ください。

<http://www.kita9.ed.jp/eductr/sub/contact3.html>

○家庭学習支援動画を掲載されています。

Youtube 北九州市教育委員会公式チャンネルに掲載されています。

<http://www.kita9.ed.jp/eductr/sub/video.html>

<https://www.youtube.com/channel/UCfZve5G3JE07nLH3yB9I2wg>

○休校中の家庭学習として株式会社イー・ラーニング研究所のスクールTVのリンクを掲載されています。

<http://www.kita9.ed.jp/eductr/sub/service2.html>

○休校中の家庭学習教材として、ご家庭のパソコンやタブレット等でダウンロード・利用できる学習プリントを用意されました。

<http://www.kita9.ed.jp/eductr/sub/contact4.html>

○生活の記録カードで、計画的な毎日と検温を欠かさずしましょう。

<http://www.kita9.ed.jp/eductr/sub/img/seikatukirokuc.pdf>

○簡単にできるよく知っている運動で体を動かして健康維持につとめましょう。

<http://www.kita9.ed.jp/eductr/sub/physical.html>

令和2年4月22日

【連絡】

学習の進め方（音楽編1年生）

教科名 音楽科 対象学年 1年生 教師名 早崎利代

新1年生の皆さんへ はじめまして。音楽科の早崎です。今日は中学校の音楽についてお知らせします。

○教科書を使った学習の進め方

・授業では、中学生の音楽1、中学生の器楽の2冊を使用します。小学校ではソプラノリコーダーでしたが、中学校では3年間アルトリコーダーを学習します。[まだ準備できていない人は学校で注文ができます（2500円）。売店では取り扱っていませんので授業の時に申し込んで下さい。楽器店やネットで購入してもかまいません。]アルトリコーダーの運指は、ソプラノリコーダーとは全く違うので、全員ゼロからのスタートです。リコーダーが苦手だった人も大丈夫ですよ。音楽1の教科書には「音楽の約束」というまとめが76～79ページにあります。小学校で習ったことも含まれているので、ぜひ見ておいて下さい。

○教科がわかる、楽しくなるポイント

・生活の中に「音楽」は欠かせません。テレビ、映画、CM、ゲームの効果音などいろいろな「音楽」のなかで生活しています。なんとなく聞き流したり一部だけを聞いている中に、気に入って（気になって）いる「音楽」はありませんか？スマホで音楽鑑賞できるなど、今や時間も場所も選ばずに音楽が楽しめる時代になりました。その「音楽」ともっと深く親しくなるために、授業でいろいろなジャンルの音楽について学習しましょう。音楽をより豊かに味わうためには、「知る」「聴きとる」「感じ取る」「歌う」「身体を動かす」「真似する」こと等が必要です。

○教科の学び方のポイント

・同じ楽曲を聴いて（歌って）も、一人ひとりの感じること・思うことが違います。また、その時の状況・心情によっても違う印象を受けるのが音楽です。授業では、仲間と共に新たな発見や驚き等を感じ、感動を味わっていきましょう。

○生徒に皆さんへのメッセージ

・一日も早く、皆さんと会いたいです。今は我慢の時ですが、思いっきり大きな声で歌える日を楽しみに待っています。

学習の進め方（音楽編2・3年生）

教科名 音楽科 対象学年 1年生 教師名 早崎利代

○教科書を使った学習の進め方、

・2年生も3年生も授業で使用するものは同じです。1年生の時から使用しているミュージック袋の中を確認しておいて下さい。ずっと歌ってませんね。「篠崎中学校校歌」覚えてますか。

授業が始まったら2年生は、歌唱曲では「夢の世界を」「翼をください」「ふるさと」を学習します。すでに知っている楽曲ですね。鑑賞では、ベートーヴェンやバッハについて学習します。ぜひ予習してください。

・3年生は、「花」「花の街」等日本の歌「心の歌」を学習します。1・2年生の時に学習した「心の歌」もあわせて思い出しておいて下さい。鑑賞は、「ブルタバ（モルダウ）」です。曲が生まれた背景や曲に託された思いについても学習します。オーケストラについて確認しておきましょう。2年のワーク10・11ページがわかりやすいです。

○教科がわかる、楽しくなるポイント

・生活の中に「音楽」は欠かせません。テレビ、映画、CM、ゲームの効果音などいろいろな「音楽」のなかで生活しています。なんとなく聞き流したり一部だけを聞いている中に、気に入って（気になって）いる「音楽」はありませんか？スマホで音楽鑑賞できるなど、今や時間も場所も選ばずに音楽が楽しめる時代になりました。その「音楽」ともっと深く親しくなるために、授業でいろいろなジャンルの音楽について学習しましょう。音楽をより豊かに味わうためには、「知る」「聴きとる」「感じ取る」「歌う」「身体を動かす」「真似する」こと等が必要です。

○教科の学び方のポイント

・同じ楽曲を聴いて（歌って）も、一人ひとりの感じること・思うことが違います。また、その時の状況・心情によっても違う印象を受けるのが音楽です。授業では、仲間と共に新たな発見や驚き等を感じ、感動を味わっていきましょう。

○生徒に皆さんへのメッセージ

・やはり生の演奏が最高です。今は我慢の時ですが、思いっきり大きな声と一緒に歌える日を楽しみに待っています。